

(2) 自主事業への取組

(2) - 1 取組の基本的な考え方

自主事業は、公園の設置目的と効用を最大限に高め、公園の特徴を生かすべく、次の観点を基本的な考え方として計画立案、実施します。これをベースに、幼児から高齢者、親子など幅広い層を対象に、お客様の目的やニーズに応じて、たくさんの方々に来園いただけるよう、魅力あるプログラムを提供します。

また、自主事業は、仕様書に記載された業務に影響のないように計画するとともに、札幌市に申請書を提出し、承認を得た上で実施します。

なお、緑化協会が担当して行う自主事業のうち、税法上の収益事業における利益は、公益事業である公園の利用促進や利用者サービスの向上、広報活動等の管理運営の経費に充当します。

① 公平・平等

自主事業の周知と募集にあたっては、札幌市広報誌、ホームページ、チラシなどで広く周知し、市民の事業参加への機会均等を確保します。

また、事前申込受付において定員を超える応募があった場合には、公正な抽選もしくは複数媒体での幅広い情報提供を行ったうえでの先着順等により公平性を確保します。

② 安全体制の確保

行催事の開催にあたっては、会場や使用備品等の点検をはじめ、事故防止を徹底します。また、事業ごとに必要な人員を配置して、適正な利用指導を行います。

③ コンプライアンス

自主事業は、諸法令を確認・遵守して計画立案します。

④ リーズナブルな価格設定

自主事業における講習等の受講料やイベント参加料は、どなたでも気軽に参加・継続できるよう低価格に設定します。

⑤ ニーズに対応した事業

公園や事業に対する要望などについて、お客様から直接の聞き取りやアンケートを行うほか、ご意見箱、電子メールなどによりの確に把握し、管理運営と事業に反映させます。

⑥ クオリティの確保

自主事業のカリキュラムや内容については、これまでの当公園・緑地管理の経験と、多くの公園を管理しているスケールメリットを生かして作成します。また講師は、事業内容により経験と知識の豊かな当コンソーシアムスタッフがあたり、特殊な能力や知識を必要とするものについては外部講師を招聘するなどして、高いクオリティを確保します。

⑦ 地域やボランティア等との連携

自主事業として実施する比較的大きな行催事等については、市民協議会をはじめ地域の方々や公園ボランティアとの協働・連携をベースに進めます。また、このことにより地域や団体、公園ボランティアの活動の活性化に努めます。

⑧ 事故発生時の対応

自主事業の実施に際して、施設賠償責任保険のほか、レクリエーション保険等に加入し、万全の措置を講じます。万一、参加者がケガをするなどの事故が発生した場合には、迅速かつ誠意を持って対応します。

(2) -2 取組の具体的内容

川下公園での自主事業（公益事業）

① フリースタイルダンス教室

地域の健康増進活動の支援やスポーツ振興のため、フリースタイルダンス教室を開催します。専門の講師が対応しスポーツや健康づくりの楽しさ・魅力を伝えることで、公園全体を健康増進スポットとして活用し、閑散期、閑散時間の有効活用を図ります。

フリースタイルダンス教室					
実施時期/回数	R5～R9 年度		通年（45 回程度）		
対象	近隣住民（幼児～小学生）				
連携・協力団体	専門知識を有する講師				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	366,000 円	366,000 円	366,000 円	366,000 円	366,000 円
支出予定金額	215,000 円	215,000 円	215,000 円	215,000 円	215,000 円
収支予算	151,000 円	151,000 円	151,000 円	151,000 円	151,000 円

② 水中健康教室

市民の健康増進・機能回復を目的に専門のインストラクターが指導する、水中ウォーキング・アクアビクス等の健康教室を週に1回開催し、市民の健康増進及びプール利用促進を図ります。教室開講の相乗効果として施設使用料の増収が見込めます。（5月連休、学校の夏休み、冬休みの期間を除きます。）

※受講料の他、施設使用料が必要となります。

水中健康教室					
実施時期/回数	R5～R9 年度		通年（35 回程度）		
対象	川下公園プール利用者				
連携・協力団体	専門知識を有する講師				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	350,000 円	350,000 円	350,000 円	350,000 円	350,000 円
支出予定金額	231,000 円	231,000 円	231,000 円	231,000 円	231,000 円
収支予算	119,000 円	119,000 円	119,000 円	119,000 円	119,000 円

③ パークゴルフ大会

川下公園パークゴルフ場利用者間の親睦及び利用促進を目的に開催し、練習による施設利用料の増収を期待します。

パークゴルフ大会					
実施時期/回数	R5～R9 年度		年 1 回		
対象	川下公園パークゴルフ利用者				
連携・協力団体	飲料メーカー、レストランほか協賛企業				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円
支出予定金額	40,000 円	40,000 円	40,000 円	40,000 円	40,000 円
収支予算	10,000 円	10,000 円	10,000 円	10,000 円	10,000 円

④ ネイチャークラフト講座

公園・緑地内で発生した剪定枝や廃材・まつぼっくり等を材料としたクラフト作製講座を開催します。作製する物は子どもでも興味を持って参加できる題材とし、長期休暇と時期を合わせて開催する等、子どもの参加者数増加と利用促進を図ります。

ネイチャークラフト講座					
実施時期/回数	R5～R9 年度		年 2 回		
対象	近隣住民、親子連れ				
連携・協力団体	なし				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	25,000 円	25,000 円	25,000 円	25,000 円	25,000 円
支出予定金額	12,000 円	12,000 円	12,000 円	12,000 円	12,000 円
収支予算	13,000 円	13,000 円	13,000 円	13,000 円	13,000 円

⑤ 雪とあそぼう in 川下公園

冬のイベントとして雪上ラフティングボート、エコクラフト講座、雪を使用したイベント、児童会館主導の雪遊びコーナーなどを計画し、幅広い客層の参加を目指し市民と一体となって冬のイベントを盛り上げます。



雪とあそぼう in 川下公園(スノーラフティング)



雪とあそぼう in 川下公園(雪遊び)

雪とあそぼう in 川下公園（雪上ラフティングボート・講座体験料）					
実施時期/回数	R5～R9 年度		1 月 1 回/年		
対象	近隣住民、親子連れ等の来園者				
連携・協力団体	白石区内公共施設活用ネットワーク協議会				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	234,000 円	234,000 円	234,000 円	234,000 円	231,000 円
支出予定金額	162,000 円	162,000 円	162,000 円	162,000 円	159,000 円
収支予算	72,000 円	72,000 円	72,000 円	72,000 円	72,000 円

⑥ 雪上ラフティングボート

冬期間における公園の有効活用と利用促進ならびに、利用者サービスの向上のため、芝生広場及び野球場にてスノーラフティングボートを開催します。

雪上ラフティングボート					
実施時期/回数	R5～R9 年度		1 月 3 回程度/年		
対象	近隣住民、親子連れ				
連携・協力団体	なし				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	45,000 円	45,000 円	45,000 円	45,000 円	45,000 円
支出予定金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
収支予算	45,000 円	45,000 円	45,000 円	45,000 円	45,000 円

⑦ 愛犬といっしょの公園散歩講座

公園での散歩マナーを身につけていただくための散歩講座を開催し、犬の社会性を育むとともに、飼い主が公園の利用マナーについて考えるきっかけを作ります。最後にウォーキングをしながら、利用マナーの啓発をすることで、犬の飼い主同士の連携を深めます。

愛犬といっしょの公園散歩講座		
実施時期/回数	R5～R9 年度	1 回/5 年
対象	犬の飼い主及び飼い犬	
連携・協力団体	公益社団法人 日本愛玩動物協会北海道支部、札幌市動物管理センター	
（年次目標）	R5 年度～R9 年度	
収入予定金額	3,000 円	
支出予定金額	3,000 円	
収支予算	0 円	

川下公園での自主事業（収益事業）

① ライラック苗木・関連グッズの販売

従来から取り組んでいるライラックの苗木及び関連商品を販売し、広くライラックの魅力を発信します。また、関連商品の開発を継続して行い、販売品目を充実させ、販売促進と増収を図ります。

ライラック苗木・関連グッズの販売					
実施時期	R5～R9 年度		ライラック開花期間		
対象	市民				
連携・協力団体	特になし				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	260,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円
支出予定金額	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円
収支予算	160,000 円	160,000 円	160,000 円	160,000 円	160,000 円

② さっぽろライラックまつり（大通公園会場）への出店

R5 年度には 65 周年を迎える、歴史ある「さっぽろライラックまつり」へ参加することで、川下公園のPR と札幌市の市木であるライラックの普及を図ります。



さっぽろライラックまつり大通ブース

さっぽろライラックまつり（大通公園会場）への出店					
実施時期	R5～R9 年度		5月中旬		
対象	市民				
連携・協力団体	札幌市、一般社団法人札幌観光協会				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	270,000 円	270,000 円	270,000 円	270,000 円	270,000 円
支出予定金額	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円	50,000 円
収支予算	220,000 円	220,000 円	220,000 円	220,000 円	220,000 円

③ スポーツ施設の用具貸出

パークゴルフ場、テニスコートでは、手ぶらで来園された方でも気軽に利用できるように、レンタル用パークゴルフクラブ、テニスラケット、テニスボールを用意することで、スポーツ施設の利用促進や利用者の利便性を図ります。また、バドミントンやサッカーボールといった手軽に遊べるスポーツ用品の貸出を行います。その他、スノーシューや歩くスキーの用具の貸出を行うなど、健康増進と冬の公園利用促進を図ります。

スポーツ用具の貸出					
実施時期	R5～R9 年度		通年		
対象	川下公園スポーツ施設利用者、川下公園パークゴルフ利用者				
連携・協力団体	特になし				
（年次目標）	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	440,000 円	440,000 円	440,000 円	440,000 円	440,000 円
支出予定金額	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円
収支予算	340,000 円	340,000 円	340,000 円	340,000 円	340,000 円

④ 浴室・プール施設の用具貸出

浴室・プールでは、手ぶらで来園された方でも気軽に利用できるように、貸しタオルや貸し水着等を用意し利用促進や利用者の利便性を図ります。また、利用者にアンケートを実施し、レンタル・販売品目を充実させ、サービス向上を図ります。

浴室・プール施設の用具貸出					
実施時期	R5～R9 年度			通年	
対象	川下公園浴室・プール利用者				
連携・協力団体	特になし				
(年次目標)	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	360,000 円	360,000 円	360,000 円	360,000 円	360,000 円
支出予定金額	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円	100,000 円
収支予算	260,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円

⑤ 各種売店営業

利用者の利便性の向上を目的にリラックスプラザ 1F 受付及び浴室・プール受付、パークゴルフ場受付にて様々な販売サービスを行います（浴室・プール関連商品、おむつ等）。その他、屋外遊び用の凧や紙飛行機、ボールなどの販売を新規に行い、公園内での多様な遊びを提供します。

各種売店営業					
実施時期	R5～R9 年度			通年	
対象	川下公園利用者				
連携・協力団体	特になし				
(年次目標)	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	260,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円	260,000 円
支出予定金額	150,000 円	150,000 円	150,000 円	150,000 円	150,000 円
収支予算	110,000 円	110,000 円	110,000 円	110,000 円	110,000 円

⑥ レストラン営業及び臨時売店の営業（販売手数料）

公園利用者の利便性を図るため、リラックスプラザ内及び壁泉横にて委託方式によるレストラン・臨時売店を配置し、利用者に飲食物等を提供します。

レストラン営業及び臨時売店の営業（販売手数料）					
実施時期	R5～R9 年度			通年	
対象	来園者				
連携・協力団体	レストラン委託業者				
(年次目標)	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	1,600,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円
支出予定金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
収支予算	1,600,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円	1,600,000 円

⑦ 自動販売機（販売手数料）

公園・緑地利用者の利便性を図るため、清涼飲料水を販売します。省エネ及び防犯タイプの機種を選定し、設置します。

自動販売機（販売手数料）					
実施時期	R5～R9年度			通年	
対象	来園者				
連携・協力団体	飲料メーカー				
（年次目標）	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収入予定金額	1,350,000円	1,350,000円	1,350,000円	1,350,000円	1,350,000円
支出予定金額	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
収支予算	1,100,000円	1,100,000円	1,100,000円	1,100,000円	1,100,000円

年度別自主事業売上目標

年度別自主事業売上目標

（単位：千円）

項目	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
フリースタイルダンス教室	366	366	366	366	366
水中健康教室	350	350	350	350	350
パークゴルフ大会	50	50	50	50	50
ネイチャークラフト講座	25	25	25	25	25
雪とあそぼう in 川下公園	234	234	234	234	231
雪上ラフティングボート	45	45	45	45	45
愛犬といっしょの散歩講座	—	—	—	—	3
ライラック苗木販売	260	260	260	260	260
ライラックまつり出店	270	270	270	270	270
スポーツ用具貸出	440	440	440	440	440
浴室・プール用具貸出	360	360	360	360	360
各種売店売上	260	260	260	260	260
レストラン販売手数料	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
自動販売機販売手数料	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350
合計	5,610	5,610	5,610	5,610	5,610

(3) 公園の課題把握及び理想像の実現

(3) - 1 基本的な考え方

川下公園が抱える課題は緑地管理をはじめ、施設管理や、利用者に関することなど多岐にわたります。川下公園では、公園の設置目的の一つである「健康」や、公園の利活用に焦点を当て、公園の特徴を生かすべく、計画立案、実施し公園の利活用につなげます。

(3) - 2 公園の課題

第8公募の川下公園は住宅街から近い距離にある総合公園ですが、公園横を流れる北白石川を境に市街化調整区域となり、住宅街の中にある公園とは違う一面があります。

そのため、近隣住民日常生活で使用する公園利用と、休日に札幌市内全域や市外から利用者が訪れる公園利用に分かれており、一年間を通して課題も様々です。

当コンソーシアムでは地域に根付きながらも、利用者の多い休日にも利用者サービスやマナーの向上を目指し以下の取組を実施します。

(3) - 3 理想像を実現するための具体的な取組内容

① リラックスプラザの夜間利活用を図る取組

リラックスプラザは夕方 17 時から閉館前の 21 時にかけて利用者数は日中の 1/10 以下に減少します。特に平日の 17 時以降は極端に利用者数がない現状です。川下公園では、平日の夕方以降にダンス教室を実施し、市民サービス向上を図るとともに、フリースペースの有効化につなげ利用者の増加と収益の増収を図ります。

② 冬期間の屋外公園利用を図る取組

冬期間に利用者がいない芝生広場を活用し、スノーラフティングボートを実施し、広い公園ならではの非日常的な体験ができるフィールドを提供します。

③ 犬の散歩マナー向上を図る取組

川下公園では近年、近隣住民の犬の散歩利用が増加傾向にあります。しかしながら一部の犬のしつけが苦手な利用者によって、他の公園利用者からの苦情が寄せられている現状もあることから、犬の散歩講座を開催し、公園全体の利用者が快適にかつ毎日の散歩利用がしやすい環境づくりに努めます。

④ 日陰の少ない公園の利用者健康管理向上を図る取組

川下公園では7月、8月のカナル・壁泉稼働時に、水遊びをする利用者が増加しますが、カナル・壁泉周辺には夏の日差しを避ける日陰を作る場所が少なく、利用者の熱中症などが懸念されます。利用者の健康管理を考慮するほか収益増加目指し、屋外売店や自動販売機にてかき氷やソフトクリーム、飲料水などを販売します。

6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

（1）既存サイトの継続使用によるアクセシビリティ確保

現在公開している当公園のホームページを、引き続き改善しながら運用するとともに、次のとおりウェブアクセシビリティの確保に努めます。

① 既に達成済みの適合レベル AA 準拠の維持・向上に向けた取組スケジュール

当公園のホームページについては、平成 29 年度に試験を行い、日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

今後のウェブアクセシビリティの維持・向上に向けた取組としては、毎年4月に担当職員を対象としたアクセシビリティ講習を行うとともに、「NPO 法人手と手」や「公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会」等の福祉団体に年1回のチェックを依頼し、意見・助言をいただき対応します。

② 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策

ページの新規作成時や修正時には、緑化協会で作成した「アクセシビリティマニュアル」に基づき適切に対応します。

③ 試験実施予定時期及び方法

既に公開しているホームページは試験実施済みですが、ホームページのリニューアルや JIS 規格の変更があった場合は、速やかに JIS X 8341-3：2016「附属書 JB（参考）試験方法」に基づいた試験を行い、結果を公開します。

④ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等）

上記①に示した対象職員へのアクセシビリティ講習や福祉団体からの意見聴取を行うほか、一般の利用者からも電子メール等で意見をいただけるよう、ホームページ上で案内します。

⑤ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等

ウェブアクセシビリティに関わる問題が発生した場合には、担当者を決めて情報を集約し、専門業者と連携を取って解決に向けた対応を迅速に実施します。また、他公園、他ドメインにおいて同様の問題発生のおそれがある場合には、前もって対処します。

⑥ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

ウェブアクセシビリティ対応の実績としては、当公園をはじめ、緑化協会が管理運営する札幌市指定管理施設のすべてのホームページ、及び緑化協会のホームページにおいて、既に日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

7 類似業務の実績

(1) 指定管理業務の実績

(1) - 1 札幌市公園緑化協会

緑化協会は、川下公園等を含め、札幌市における公の公園・施設の指定管理者として、現在は次の29公園施設を管理運営しています（コンソーシアムによる管理運営を含む）。

総合公園	中島公園、円山公園、百合が原公園、モエレ沼公園、川下公園、平岡公園 前田森林公園、月寒公園
運動公園	厚別公園、農試公園、手稲稲積公園
特殊公園	大通公園、平岡樹芸センター、創成川公園、西岡公園、旭山記念公園
都市緑地	豊平川緑地（上流・下流地区）、山口緑地
地区公園	豊平公園、発寒西陵公園、北発寒公園、前田公園、星置公園、明日風公園 西岡中央公園、吉田川公園、清田南公園、北郷公園
施設	札幌市豊平川さけ科学館

(1) - 2 横浜植木株式会社

横浜植木は、川下公園等を含め、札幌市における公の公園・施設の指定管理者として、現在は次の7公園緑地を管理運営しています（コンソーシアムによる管理運営を含む）。

総合公園	川下公園、藻南公園
都市緑地	豊平川緑地（下流地区）石山緑地、小金湯さくらの森
地区公園	北郷公園、常盤公園

(2) 公園・緑地等における維持管理業務、その他緑化関連事業の実績

(2) - 1 札幌市公園緑化協会

国営公園の運営管理
<ul style="list-style-type: none"> ■緑化協会は、これまでの公園・緑地等の管理経験で培ったノウハウを活用し、一般財団法人公園財団との共同体の代表として、平成22年度から国営滝野すずらん丘陵公園の運営維持管理を継続して行っています。

指定管理者制度以前の管理運営等業務
<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者制度の導入以前については、緑化協会が有する専門知識・技術等を活用して、札幌市内の大規模公園や市民ニーズの多様化、特殊化に対応する高度な管理技術を要する17の公園施設等（大通公園、中島公園、円山公園、百合が原公園、モエレ沼公園、川下公園、厚別公園、豊平公園、平岡公園、平岡樹芸センター、農試公園、手稲稲積公園、前田森林公園、星観緑地、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市農業体験交流施設（サッポロさとらんど）、手稲山研修センター）を管理運営してきました。 ■その他、西岡公園、茨戸川緑地、五天山公園、西山苗圃、北方自然教育園、里塚霊園、平岸霊園、手稲平和霊園、荒井山スキー場等においても維持管理業務を行ってきました。 ■業務遂行にあたり、基本的な維持管理・運営管理に加え、各公園・施設ごとに異なる仕様・特性に対しても工夫して管理に取り組むことにより、緑化協会の公園運営能力の向上につなげ、これら公園・施設の価値を継続的に高めてきました。

その他、公園の維持管理等に関連する業務の実績

■緑化協会ではこれまで、職員の専門技術や知識、資格等を活用して、次のような業務を受託・実施することにより、緑化協会独自の技術と管理ノウハウを蓄積してきました。

- ・緑のリサイクル調査
- ・各公園施設樹木診断・樹木移植
- ・公園土壌調査
- ・試験栽培技術指導
- ・街路樹灌水・清掃等
- ・札幌市本庁舎立体花壇設置
- ・公園砂場汚染対策調査
- ・農業センター跡地公園化検討
- ・試験研究圃場管理
- ・土壌分析
- ・各種観察会開催
- ・魚類・生物調査
- ・園芸・緑化等に係る講師派遣
- ・都市緑化サポート等の業務
- ・花と緑のネットワーク推進支援事業
- ・プレーパーク推進支援事業 等

これらの業務の受託・実施においては、委託者の要求に適切に応え、良好な成果を上げることに努め、高い評価と信頼を得てきました。今後も緑化協会が有する知識、技術及び管理ノウハウを活用できる業務を積極的に受託し、広く社会に貢献するとともに、組織の経営基盤向上にもつなげたいと考えます。

(2) -2 横浜植木株式会社

その他、公園の維持管理等に関連する業務の実績

■横浜植木ではこれまで、職員の専門技術や知識、資格等を活用して、次のような業務を受託・実施することにより、横浜植木独自の技術と管理ノウハウを蓄積してきました。

- ・札幌市公園及び街路樹等総合維持管理業務：白石区(西地区)、北区(鉄西・幌北・北・麻生地区)中央区(東部地区)、厚別区(西地区)
- ・札幌市市民の森維持管理業務
- ・札幌市公共施設維持管理業務：白石区役所庭園管理業務

(3) 緑化協会の業務における成果の代表事例

当コンソーシアムの代表団体である緑化協会では、前述の実績を通して、設立以来培ったノウハウを生かし、公園施設の管理運営業務等において、次のような有益な成果を上げています。

北国さっぽろを基準とした植物栽培技術の確立・発信

ユリ(百合が原公園)やライラック(川下公園)、ウメ(平岡公園)など、公園のシンボルとなっている植物の管理技術や、バラ、ダリア、フクシア、ゼラニウムなど札幌の環境・風土に適する植物の栽培技術を確立して、北国さっぽろのまちづくりに相応しい植栽デザインや栽培方法などについて提案し普及に努めてきました。

特に川下公園のライラックについては、開園当時から多品種のコレクションの収集・生育管理と情報提供等を積極的に行ってきた結果、その継続的な活動が国際ライラック協会に認められ、2017年に川下公園が「President's Award」を、また長年ライラックの管理に携わった緑化協会職員が「Directors' Award」をそれぞれ受賞しました。

人と自然に優しい公園管理

① 植物リサイクル

指定管理者として管理する全公園施設において、刈草、落ち葉、枝や幹などの植物系廃棄物を堆肥化又はチップ化し、樹木周辺及び園路等に敷き均すなど、可能な限り公園内で循環するよう、リサイクルに努めています。

② 化学農薬を極力使わない植物管理

化学合成された殺虫剤や殺菌剤、除草剤を極力使わない植物の維持管理を行い、安心・安全な公園管理を目指しています。例えば、植物の生育に大きな被害をもたらすコガネムシ類の幼虫の駆除のため、平岡樹芸センターでは、ボランティアとの協働で夜間に羽化した成虫を大量に捕獲するなどの対応を取り、一定の成果を上げています。

③ 生物多様性保全に向けた取組

公園・緑地をはじめ、札幌市内における生物多様性の保全については、以下にあげる各種の課題について、大学や専門機関、活動団体、ボランティア等との連携により継続して取り組み、状況の改善に努めています。

- ・ 特定外来生物であるオオハングンソウのほか、イワミツバ、ゴボウなど外来植物の駆除
- ・ トノサマガエル、アズマヒキガエル、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ミシシippアカミミガメ等の外来種を対象とした調査・啓発・駆除
- ・ 在来の希少種であるクリンソウ、クゲヌマラン、ハイケボタル、オオムラサキ、ニホンザリガニ、カワシンジュガイ等の保全・啓発
- ・ 鳥類による食害防除、野生動物（リス、キツネ、鳥類など）への餌付けから生じる諸問題への対応



そして、札幌市環境局の生物多様性推進事業に協力するために、緑化協会は「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」に登録しているほか、百合が原緑のセンターなど4施設が「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」に参加し、スタンプラリーの開催や連携事業などを行うことで、生物多様性保全活動の活性化に貢献しています。

また、札幌市からプロポーザルで発注されていた「まちなか生き物活動」事業において、平成27年度の「タブレットで生き物情報を集めよう！」では、緑化協会が管理する円山公園、平岡公園、西岡公園でトノサマガエル、ハイケボタル、野鳥を対象とした参加型調査に協力したほか、平成29年度の「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」においては、豊平川さけ科学館がプログラムの実施に協力しました。

④ 安全・安心な公園利用環境の提供

札幌市内でも郊外に位置する公園では、キタキツネを見かけることがあり、利用者からエキノコックス感染症に対する不安の声が寄せられることがあります。緑化協会では、安全・安心な公園利用環境の確保のため、北海道立衛生研究所や環境動物フォーラムなど専門機関の協力を得て、平成29年6月から、平岡公園において、試験的に駆虫薬入りのベイト（エサ）を毎月散布しています。そして、この取組の目的と実施内容を、ベイトがヒトや犬には安全であることを含め、ホームページで周知しています。今後は、この取組の効果の検証結果を受けて、他公園での実施についても検討していく予定です。

緑化の普及啓発

広く緑化の普及啓発を推進し、市民の園芸技術の向上を図るため、公園観察会、植物等の展示会及び園芸講習会や緑の相談など、様々な取組を行っています。

①公園観察会

スタッフが園内の見どころを解説しながら案内する公園ツアーや自然観察会は、公園の魅力を紹介するだけでなく、環境や生物等についても広く学べるため、多くの市民から好評を得ています。

② 展示会

ゼラニウムやフクシアなど、札幌の気候や生活環境に適した植物を紹介する展示会、盆栽やサツキ、セントポーリアなど、地域で活躍する植物同好会等との協働による展示会、市民が栽培したランなどの観賞植物の展示会、植物や生物などを活用した環境教育関連の展示会など、四季折々の工夫を凝らした展示会を開催して、市民の目を楽しませるとともに、新たなガーデニングへの関心を高めることで緑化の普及啓発を行っています。

③ 園芸講習会

市販の園芸に関する手引き書は、そのほとんどが積雪のない本州仕様で、積雪寒冷地の札幌市民にとっては参考にならないことが多々あります。緑化協会では、長く培ってきた札幌の気候に適した技術・ノウハウ等を市民に普及するため、スタッフによる様々な園芸講習会を開催し、市民の園芸知識及び技術のレベルアップを図ってきました。

④ 緑の相談

園芸に関する様々な相談に答える「緑の相談」については、3箇所の相談所に専門の相談員を配置し、全国屈指の数の相談を受けています（令和3年度は計14,742件）。北国札幌の園芸特性に対応し、冬越しの管理など、一般の書籍などでは正確な情報を得ることが難しい質問に対しても、分かりやすく適切な回答に努め、市民からは高い評価と信頼を得ています。

⑤ 基金事業による取組

民有地の緑化と、緑化の普及啓発を図るため、次の事業を札幌市都市緑化基金事業として実施しています。(カッコ内は令和3年度の実績)。

- 札幌市の木であるライラック他花木の苗木配布 (475 本)
- 壁面緑化のためのツタ苗補助 (3 件、14 株)
- 町内会等へのプランター無料貸出し (4 団体、100 基、花苗 500 株)
- 小・中学生を対象とした緑の絵コンクールの開催 (参加 59 校、339 点)
- 札幌市内公園・緑地のフォトコンテストの開催 (応募 204 名、695 点)
- ガーデニングボランティアの養成を目的とした講座・実習プログラムの実施
さっぽろまちづくりガーデニング講座 (受講者 12 名 全 17 回)
17 回のうち 5 回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し次年度に振替
- 花や緑を切り口とした緑化プランに対する助成金交付の募集
- 園芸に関する知識や技術を解説する冊子を配布
すくすくみどりNo.30 「初めての宿根草～誰でもかんたん・宿根草ガイド～」
(4,000 冊)

⑥ さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業 (札幌市委託事業)

札幌市から標記事業を毎年受託し、緑化協会が事務局となり、花と緑のまちづくりに関心を寄せる市民や団体を募って登録し、その活動を広く市民・企業などへ情報発信し、みどり豊かなまちづくりの輪を広げています。ワークショップや定期的な講習会の開催、会報の発行、ホームページの運用などで花と緑に関するネットワークを広げ、人と人を結ぶことで新たな活動創出のきっかけづくりを行い、成果は着実に広がっています。

⑦ ガーデニングボランティアの養成

公園をフィールドとした花と緑のボランティアを募り、各公園の実情に合った講義や実習などを通して、公園の美観の維持向上に活躍していただいています。

⑧ 園芸等に関する小冊子の発行

緑と花に関する小冊子「すくすくみどり」を発行し、各公園のほか市役所・各区役所などの公共施設で配布しています。また、バックナンバーについては緑化協会ホームページで公開しています。

⑨ 「まちづくりのための北のガーデニングボランティアハンドブック」の出版

ガーデニングボランティアの養成を目的として、平成 20 年度からの 5 年間にわたり、緑化協会の主催で開講した「さっぽろ緑花園芸学校」の講義・実習の内容をベースに、52 名の専門分野の講師によって執筆された、ガーデニングやまちづくりに関するハンドブックを平成 26 年度に出版しました。北国のまちづくりを広くカバーする充実した内容が好評を博しています。

⑩ 外部への講師派遣等

緑化協会において、スタッフ各自が専門知識・技術の研鑽とその共有に努めてきた結果、現在、さまざまな団体・法人等から講習会・講演会の講師や専門委員としての依頼をいただいております。緑化協会が果たすべき使命・役割の一環として積極的に引き受けています。

市民参加・協働の推進

現在、緑化協会が指定管理者として管理する 20 の公園・施設において、46 の団体に計 800 名近いボランティアが登録し、活発に活動しています。また、円滑なボランティア活動を推進するため、各公園・施設にボランティアコーディネーターを配置してボランティアの養成と支援に努めています。

このほか、市民や地域の団体等によるイベントを積極的に誘致し、誰もが参加できるように明るく楽しいイベント運営をコーディネートしています。

その他

① プレーパーク（子どもの外遊び）の推進

緑化協会は、平成 23 年度から毎年、札幌市子ども未来局の「プレーパーク普及啓発・活動支援業務」を受託し、既存の活動団体の支援と市内各区のプレーパーク活動の芽のサポートに継続して取り組んできました。また、外遊びにかかわる様々なテーマについて実践的な講座を開催し、子どもの遊びを見守るプレーリーダーの新たな発掘と育成にも努めています。

公園・緑地における子どもの外遊びをより活発にするため、今後も公園の管理運営と連携してプレーパーク活動支援の取組を推進していきます。

② 子どもたちによる生物調査活動

緑化協会では、環境教育の一環として、子どもたち自身により生物調査を行う取組である「西岡ヤンマ団」を平成 19 年度に、「西岡さかな組」を平成 21 年に結成し、西岡公園の自主事業としてトンボと魚類の調査を実施してきました。参加する子どもたちは、現地で直接生物と接し、調査結果を整理して考察し、成果を発表することを通して、生物に関する興味関心を深め、自然環境の大切さを学びます。子どもたちの活動には、卒業生や保護者もサポートで参加しており、地域活動の活性化にもつながっています。

これらの取組は、下記のとおり、これまで様々な賞を受けています。

受賞内容		主催者
ヤンマ団	H23 ジュニア自然環境賞	(一財)前田一步園財団
	H27 コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞(活動表彰部門)	(公財)コカ・コーラ教育・環境財団
	H28 さっぽろ環境賞 札幌市長賞(市民・団体部門)	札幌市
	H28 こどもホタレンジャー2016 水環境保全賞	環境省
	H28 こども環境学会賞 活動賞	(公社)こども環境学会
	H29 道新地域げんき大賞	(株)北海道新聞社
	H30 小中高生ポスター発表 優秀賞	第 89 回日本動物学会札幌大会
さかな組	H28 コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞(活動表彰部門)	(公財)コカ・コーラ教育・環境財団
	H28 クリオネ賞	(公社)日本水環境学会北海道支部
	H29 水環境文化賞「児童・生徒の部」(みじん子賞)	(公社)日本水環境学会
	H30 小中高生ポスター発表 優秀賞	第 89 回日本動物学会札幌大会

③ 効率的な管理運営

緑化協会は、メリハリのある管理運営計画や人員配置の工夫などを行うことで、より効率的な管理運営体制を構築してきました。特に、スタッフの専門知識・技術を生かして、公園・施設間で柔軟にスタッフを配置・活用する「みどりの価値向上プロジェクト」(P.21)が、公園・施設の運営と事業を活性化させています。

④ ノウハウの共有と品質・サービスの向上

札幌市の公の施設及び国営滝野すずらん丘陵公園の管理運営などにより培ったノウハウを、組織全体の財産としてスタッフ間で共有することにより、全公園・施設の品質向上や利用者サービスの向上につなげています。

8 札幌市内の企業等の活用について

(1) 活用についての考え方

緑化協会では、物品の購入と外部への委託等については、札幌市内の企業・団体を優先的に活用しています。

(1) - 1 札幌市内の企業・団体を活用する理由

- 地域経済の発展に寄与するため。
- 優秀な技術、商品等をいち早く入手するため。
- 地域の高度な技術や優良製品等が市民の目に留まる機会となるため。
- 商品等の輸送時に排出されるCO₂の抑制に貢献するため。

次の優先事項を考慮して、当公園の管理において、適切な市内企業を選定し活用していきます。

(1) - 2 札幌市内の企業・団体の中での優先事項

- 福祉施策に積極的に取り組んでいる企業
- 環境に配慮した商品や技術を有している企業
- 福祉施設・団体等が生産する物品等の調達
- 地域の風土、素材、デザイン、特産等を生かした札幌らしい商品・サービス等の調達

(2) 活用に向けた具体的な取組

緑化協会では、上記の理由及び優先事項に適合する札幌市内の企業や商品等を適切に選定するために、次のとおり取り組みます。

- ① 緑化協会が管理する公園・施設間の情報を共有して、企業のコンプライアンス・信用力、業務の体制や実績等を総合的に見極めて事業者を選定するよう努めます。
- ② 商品の適正価格、品質、サービスの柔軟性等の要素についてよく検討して、管理経費の節減と適切な業務遂行に相応しいものを選びます。
- ③ 新聞、テレビ、インターネット、情報誌等により、札幌市内の企業や商品等の情報収集に努め、積極的な活用につなげます。
- ④ 札幌市中小企業振興条例の理念に則り、中小企業や個人経営者の受注機会を増やし、地域の商店などの活性化に努めます。
- ⑤ 「令和4年度札幌市障害者就労施設等からの物品等の調達方針」の趣旨を理解し、障害者就労施設等からの物品・販売商品等の調達や業務の委託などの継続・拡大に努めます。

9 その他（都市公園の管理運営に関する提案事項）

（1）適正な業務執行について

（1）－1 個人情報の適正な取扱いについて

当公園・緑地の管理運営において取り扱う可能性のある個人情報（特定の個人を識別できる情報）については、次のものがあります。

- ・ 公共施設（運動施設等）の利用者情報
- ・ 園内での拾得物に係る個人情報
- ・ 講習会等の参加者情報
- ・ 苦情・要望等に係る個人情報
- ・ 公園ボランティアの登録者情報
- ・ 園内での事故等における当事者情報

このほか、謝金等をお支払いする講師等の情報については、マイナンバーを含む特定個人情報に該当します。

これら個人情報の取得、利用、保管、開示、廃棄等の際には、個人情報を取り扱う緑化協会が定めている個人情報保護要綱、及び特定個人情報保護要綱に則り、適法かつ適正に取り扱います。

また、個人情報を取り扱うスタッフを対象に個人情報保護研修を実施し、適正な取扱い体制を確保します。

（1）－2 円滑な引継ぎ対応について

当公園・緑地の指定管理者については現在、当コンソーシアムが指定を受け、公園の価値の一層の発揮、利用促進のため日々管理運営に努めており、今後も引き続き管理運営を希望しています。

しかし、今回の選定において、仮に当コンソーシアムが次期指定管理者に選定されなかった場合には、公園利用者のほか、管理運営にも深く関わっていただいている公園ボランティア、ご協力いただいている地域の方々などの不便、不利益とならないよう、引継ぎに必要な情報を整理した上で、新しい指定管理者及び札幌市と協議を重ね、円滑な引継ぎができるよう協力します。

(2) 当公園・緑地の管理運営についての提案

(2) - 1 川下公園・北郷公園の管理運営について

現在の川下公園・北郷公園において、指定管理業務の範囲では対応できない、管理上の支障となる事項があります。

これらについては、公園利用者や近隣住民の安心・安全を確保するとともに、利用者の満足度を高めることを目的として、対応・対策を検討し実施する必要があるため、現指定管理者として札幌市と協議を進めたいと考えていますが、今回の応募の機会に提案として記載します。

① 川下公園外周林の樹種転換

川下公園外周樹林は防風林として、その役割を十分に発揮しています。

しかし、西側、南西側の住宅地に隣接している樹林地はそのほとんどが早生樹種であるドロノキとシラカンバです。生長著しいドロノキは、ほかの樹木を被圧し生長を妨げてしまっています。また、ドロノキは綿毛の飛散が多く、飛散時期には近隣住宅地から苦情が寄せられるなど、将来的には川下公園にとって有用な樹種ではないと判断されます。今後、札幌市と共に検討を重ねながら、中・長期的な樹種転換計画を策定し、外周林としての機能を有し、かつ多様な植物が生育できる環境を作り上げることを提案します。



ドロノキが巨木化し過密状態になった川下公園外周林

② インナーパークの遊具更新

リラックスプラザ屋内公園には小型の多目的遊具が1基のみしかなく、小学校3年生までの制限もあるため、限られた利用者しか使用できません。しかし、リラックスプラザは小学校6年生までの利用者も多く、遊具の平等利用ができない状況です。今後、幅広い年齢層が遊べるような遊具の更新を提案します。



③ 川下公園多目的広場の改修

川下公園では消防局からドクターヘリの緊急着陸の要請があります。以前は芝生広場を使用しておりましたが、現在運用されているドクターヘリの着地面がスキッド式から車輪式に変更され、芝生の上に着陸することが非常に困難なため多目的広場を利用しております。

しかし、離発着の度に多目的広場の石粉が風圧で飛ばされる状況です。また、園内にはスケートボードの利用者も多く、他の公園利用者と住み分けができていない状況で、他の利用者とのトラブルになりかねない場合も見られます。

床面をアスファルト及びコンクリートに変更することで、ドクターヘリの離発着も容易にし、スケートボードなどの利用も可能なことから多目的広場の改修を提案します。



④ 北郷公園の樹種転換

北郷公園内には巨木化したポプラが植栽されておりますが、北郷公園近隣は住宅街でもあり、台風などの自然災害が発生時に倒木した場合、住宅地への重大な被害が発生する可能性があります。また、ポプラは、風による葉が擦れる音が大きく、騒音の観点からも住宅地に適した樹木とは言えません。さらに、縦に伸びるポプラは木の下に日陰ができづらく、木陰で休憩することも十分ではありません。そこでアオダモ、エゴノキやハルニシなど北海道の風土に適した樹木に樹種転換することで近隣の安全を図るほか、利用しやすい公園の向上に向けて提案いたします。



管理に係る収支計画書(様式4-2 令和5年度)

法人・団体名:公園緑化協会・川下公園コンソーシアム

	科目	指定管理業務			自主事業					計		
		管理費	事業費	小計	自主(公益)	管理費	収益事業	管理費	小計			
収入	指定管理費	156,217								156,217		
	利用料金収入	17,025								17,025		
	その他収入				1,070		4,540	5,610	5,610			
	収入計	173,242			1,070	0	4,540	0	5,610	178,852		
支出	人件費(職員費)	6,321	35,777	42,098	0	22	0	150	172	42,270		
	人件費(臨職)	68	44,982	45,050	0	0	0	4	4	45,054		
	旅費交通費	25	0	25	0	0	0	2	2	27		
	通信運搬費	33	381	414	0	0	0	2	2	416		
	什器備品費	38	105	143	12	1	0	3	16	159		
	消耗品費	53	2,100	2,153	100	1	123	3	227	2,380		
	備品購入費	4	0	4	0	0	0	1	1	5		
	修繕費	13	2,142	2,155	21	0	0	0	21	2,176		
	原材料費	0	800	800	0	0	0	0	0	800		
	商品仕入費	0	0	0	0	0	250	0	250	250		
	印刷製本費	11	147	158	50	0	0	1	51	209		
	被服費	1	129	130	0	0	0	0	0	130		
	燃料費	4	14,249	14,253	0	0	0	0	0	14,253		
	光熱水費	56	28,177	28,233	0	1	20	3	24	28,257		
	賃借料	386	1,085	1,471	0	4	0	25	29	1,500		
	保険料	3	400	403	140	0	0	0	140	543		
	諸謝金	139	0	139	50	2	0	9	61	200		
	租税公課	13	14	27	0	0	0	1	1	28		
	(預かり消費税分)	639	6,559	7,198	0	2	0	15	17	7,215		
	支払負担金	67	15	82	0	1	0	5	6	88		
	支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	委託費	178	30,708	30,886	240	2	0	11	253	31,139		
	広告宣伝費	55	150	205	3	1	0	4	8	213		
	手数料支出	172	96	268	0	2	0	11	13	281		
	交際費	2	0	2	0	0	0	0	0	2		
	報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	雑費	23	20	43	50	0	100	1	151	194		
	リース債務返済支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	支払利息	10	0	10	0	0	0	1	1	11		
	寄附金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
報酬	20	0	20	0	0	0	2	2	22			
ソフトウェア使用料	25	88	113	0	0	0	2	2	115			
講習・研修費	15	120	135	0	0	0	1	1	136			
行政財産目的外使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他(本社経費)	0	210	210	0	0	0	0	0	210			
支出計	8,374	168,454	176,828	666	39	493	257	1,455	178,283			
利益等	収支				-3,586		365		3,790		4,155	569
	利益還元								0		0	
	法人税等										569	
	当期純利益										0	

※ 当初5年度分(R5~R9)の年度ごとの収支計画書を作成してください。
 ※ それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
 ※ 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 ※ 税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
 ※ 「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
 ※ 様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。